



Happy Art Project

改札ロ 2020 ギャラリー

いつもの駅に アートの気配



地球ドラマチックという番組を見て、オオカミとカラスの共生を形にしたいと思って作りました。11 作品作ってききましたが、1 番の出来栄です。

動物の共生について

久喜市立東鷲宮小学校6年
上瀧匠太くん



最初は薬草が体のどこに効くかという作品にしようとしたが、臓器の作品を作りましたが、本を参考にしながら、頑張って作りました。

血液の循環と臓器について

幸手市立権現堂川小学校6年
藤沼祐羽さん



ばらの輪郭をとるのが難しかったです。まだつぼみだったので咲いたばらが描けませんでした。にじ色のばらのつぼみを見てもらいたいです。

にじ色のばら

幸手市立さくら小学校2年
新井心遙さん



窓の前なので、陽の光が木漏れ日となるように考えました。飾ってみると、けや木の葉の色合いがとてもきれいで良かったです。

けや木の木漏れ日

幸手市立西中学校2年
小林葉瑠さん



権現堂のひまわりを見に行ったら、たくさん咲いていたので、ひまわりの作品にしました。昆虫などは、シールに描いたものを貼りました。

権現堂のひまわり

久喜市立桜田小学校3年
保坂幸芽さん



お花が好きで、チューリップを描きたいと思ってチューリップ畑の作品にしました。大きいピンクのチューリップを見てもらいたいです。

チューリップ畑

幸手市立行幸小学校3年
平澤あんずさん

子どもたちの作品などについて
お話を伺いました

学びっ人村塾長 小林晃一さん(彫刻家)

よくやってくれましたよ、ここまで素晴らしい作品ができると思っていませんでしたから…。最後までやり切った作品ですから、子どもたちを褒めてあげたいです。

普段子どもたちには、ひとつのことを最後までやりきること、納得のいくまでやるということを学ばせています。最後までやりきったあとの子どもは、伸びていることを実感しますね。

子どもたちの想像力を養うには、間接体験(テレビ・ゲームなど)よりも直接体験(美術・図工・体育など)が今の時代もとても大切なことだと思います。美術などの力を借りてたくさん直接体験をしておく、想像力や最後までやりきるといった大切なことが身につくので、社会人になっても役に立ちます。

教えている中で反省点もありました。何気なく「こうやってはどうだ」とアドバイスしたら、制作意欲がなくなってしまう…。それで「自分のやり方をもう一回探ってみよう」と声をかけたら、やる気ができてホッしました。

子どもなのでうまく言葉にできないこともありますので、子どもの感じ取る心をつぶしちやいけないうと反省し、教えるではなく、寄り添いながら伸ばしていくようにしています。

この改札ロギャラリーは起点です。全国で幸手しかやっていませんので、根付かせたいという思いがあります。駅を降りればすぐ目の前にギャラリーですからね。

少しずつアートを置くことで楽しみが増えますし、みなさんの気持ちや、まちが明るくなればうれしいですね。

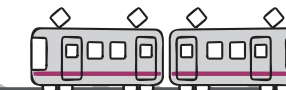
M 学びっ人村(まなびとむら)

日本橋から 50km の日光街道の宿場町、幸手。学びっ人村は、幸手市の田んぼの中に建つアトリエ。田んぼや原っぱなどの自然の中、のびのびとフィールドワークや工作・キャンプ・研修・ワークショップなどのアート体験や・造形を活用した学習ができる教室です。

所在地 埼玉県幸手市幸手 3637 ☎ 0480(44)1310



<https://manabittomura.com/>



主催：幸手市 協力：NPO 法人アート体験協会

※作品の展示は、2020 年 11 月 30 日(月)まで。